

# ネイチャーセンターだより



2007/6



## オオジュリン

英名：Reed Bunting 学名：*Emberiza schoeniclus*

春国岱の海岸沿いのハマナスコースを歩いていると、頭が真っ黒に変わったオオジュリンに出会えます。雄はヨシの先や杭の上などに止まり、「チュイッ、チッ、ジュイーン」とさえずるので、とても目立ちます。草の茎に縦にとまり草から草へ移動しながら、昆虫を捕まえて食べます。

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

**フィールドボランティア説明会 6月17日(日) 10:00~15:00**

「風蓮湖・春国岱」で楽しみながらボランティア活動をしてみませんか？  
ボランティア活動の内容や、春国岱についてレンジャーがご紹介いたします。特別な知識や経験は必要ありません。どうぞお気軽にご参加ください。

- ・対象：高校生以上20名
- ・申込：6月12日(火)まで

お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

# ネイチャーセンターのイベント報告

早起きバードウォッチング 5 / 13

5月になり、冬の間南の方で過ごしていた夏鳥が少しずつ春国岱にも戻ってきました。ネイチャーセンター横の自然学習林からは、アオジ、コマドリ、ミソサザイ、ウグイスなどのさえずりが朝早くから聞こえてきます。そんな、早起きな小鳥たちを観察する「早起きバードウォッチング」を5月13日に開催しました。当日は、5時半という早い時間で、ぱらぱらと小雨が降っていたにもかかわらず、7名の参加者が集まってくれました。

まず、ネイチャーセンターで図鑑の見方や、今見られる鳥について学習し、外へ観察に行きました。



ネイチャーセンターで事前学習



双眼鏡と図鑑を持っていざ出発！！



あの鳥は何だろう？

自然学習林の「小鳥の小道」を歩きながら、林にいる鳥と海にいる鳥をさがしました。

初めのうちは、アオジやコマドリなどの声が聞こえてきても、なかなか姿を見ることができませんでした。しかし、後半になると雨もやみ、また、参加者の目も慣れてきて、鳥の姿を見つめることができるようになりました。

この日、姿を確認できたのは、ウミウ、ヒドリガモ、オナガガモ、トビ、タンチョウ、オオセグロカモメ、アカゲラ、ハシブトガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、アオジ、コムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラスの14種で、声を確認できた種を合わせると、17種になりました。

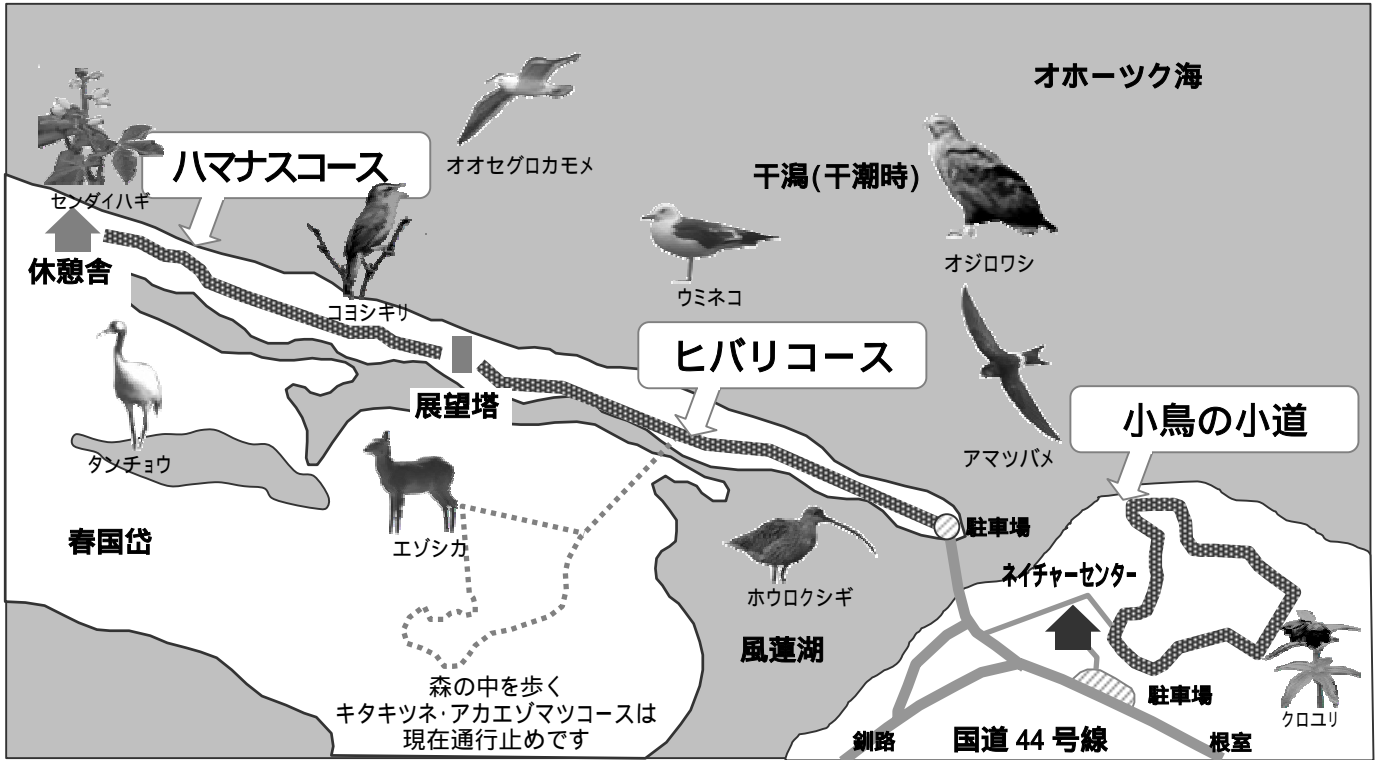
本州から、たまたま根室にいらしていた参加者は、本州では冬鳥であるアオジや、亜高山の鳥であるコマドリのさえずりに感激しているようでした。

参加者からは「林の小鳥は、自分だけで見えても何の鳥か分からないことが多いので、今回、いろいろ知ることができて良かったです。」との感想をいただきました。

今の時期、鳥たちは子育てを始めています。子育て時期の鳥たちはとても神経質になっていて、あまり人が近づくと、子育てをやめてしまうことがあります。鳥を見る際は、鳥の生活を邪魔しないように、そっと観察をしていただくと嬉しいです。

# 6月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。  
浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。  
センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



# ネイチャーセンター日記

ゴールデンウィークが過ぎてから、春国岱が一気に春らしくなってきました。ネイチャーセンター横の自然学習林では、春の花や小鳥たちに出会うことができます。

先日、自然学習林を歩いていたらエゾエンゴサクを訪れているマルハナバチの仲間に出会いました。足に黄色い花粉のお土産をつけ、次から次へとエゾエンゴサクを訪れては、顔を花に突っ込んで、一生懸命に蜜を採集していました。ハチは花から蜜をもらい、花はハチに花粉を運んでもらう。花とハチはまるでそんな約束をしているようです。



花を訪れるマルハナバチの仲間

しかし、このマルハナバチの仲間には、その約束を守らず、蜜だけでもって行ってしまうものもいます。それを「盗蜜」と呼んでいます。「盗蜜」をするのは、口が短く蜜まで届かない種類で、蜜のあところに外側から穴をあけて蜜を盗みます。自然学習林のエゾエンゴサクの花をよくみると盗蜜されたあとを見ることができます。

## メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先: [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ: [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

## 団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

**事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。**

**などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。**

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570  
HP [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)  
メール [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

6月の開館時間  
9:00~17:00  
6月の休館日  
6・13・20・27(毎週水曜日)

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター